

みんなく映画会

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈包摂と自律〉

—家族のゆくえ—



ラビット・ホール

© 2010 OP EVE 2, LLC. All rights reserved.

第24回上映会

2014年 **1月25日** [土] 13:30~16:00 (開場13:00)

場 所 国立民族学博物館 講堂

参加料 **無料** (ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)

定 員 **450名** 入場整理券を10:00から講堂入口にて配布します。事前申込は不要です。

主 催 国立民族学博物館

Rabbit Hole

2010年/アメリカ映画/英語/91分/日本語字幕付き

監督/ジョン・キャメロン・ミッチェル

出演/ニコール・キッドマン アーロン・エッカート

司 会 鈴木 紀 (国立民族学博物館 民族文化研究部・准教授)

解 説 岩佐光広 (高知大学 人文学部・講師)

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00) <http://www.minpaku.ac.jp/>



国立民族学博物館



みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈包摂と自律〉 —家族のゆくえ—

国立民族学博物館では、2009年秋から開始した機関研究〈包摂と自律の人間学〉のテーマにあわせて、研究者による解説付きの上映会「みんなくワールドシネマ」を実施しています。第5期は〈家族のゆくえ〉をキーワードに映画上映を展開していきます。今回はニコール・キッドマン製作・主演のアメリカ映画「ラビット・ホール」です。4歳の一人息子を交通事故で亡くした母親の深い喪失感から再生への過程を静かに見つめた物語を通して、大切な愛する人を突然失った時の家族の在り方について皆さんとともに考えていきたいと思います。

第24回上映会

2014年1月25日(土) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)

定員 450名

入場整理券を10:00から講堂入口にて配布いたします。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

ラビット・ホール Rabbit Hole

2010年/アメリカ映画/英語/91分/日本語字幕付き

監督/ジョン・キャメロン・ミッチェル

出演/ニコール・キッドマン アーロン・エッカート

司会 鈴木 紀 (国立民族学博物館 民族文化研究部・准教授)

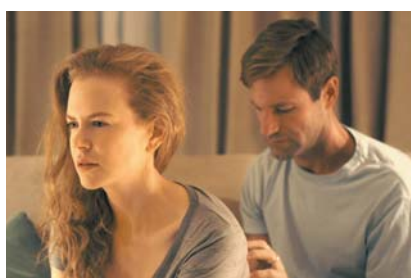
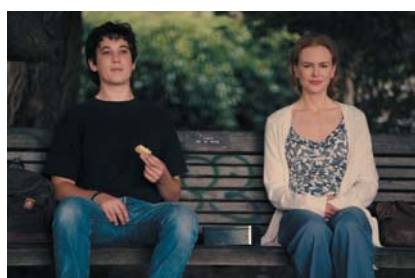
解説 岩佐光広 (高知大学 人文学部・講師)

映画解説

ピューリッツァー賞に輝く同名戯曲に感銘を受けたニコール・キッドマンが、自ら製作も兼ねて映画化を実現させ、賞レースを沸かせた注目の一本。花と緑に囲まれた住宅街で、愛犬と幸福に暮らすある家族だったが、4歳の一人息子の交通事故死が、生活を一変させてしまう。在りし日の息子の映像に涙しつつ、無理やり前に進もうとする夫と、事故から8か月を経ても、時に周囲を困惑させるほどに情緒不安定な妻は、いとおしい存在を亡くした喪失感とそれぞれに闘いながらも、深まる互いの溝を埋められずにいる。息子をはねた車を運転していた少年と再会した妻は、しまい込んできた胸中を語り合い、彼の漫画に登場する“パラレル・ワールド”を夢見るうちに、心に安らぎを覚える。大切な思い出とともに、決して消えない悲しみや痛みをも、ぎゅっと握られた手と手で受け止めていく夫婦の、これからに思いを馳せなくなる趣深い珠玉作だ。(映画評論家 服部香穂里)

「グリーフ・ワークの紡ぐもの」

愛する人との死別、とりわけ予期せぬ突然の死別は、悲嘆(グリーフ)を引き起こす代表的な経験である。「グリーフ・ワーク(悲嘆作業)」とは、その悲嘆と向きあい、受け入れ、死別した者との関係を紡ぎなおしていく過程のことである。このグリーフ・ワークは、死別の経験の当事者である遺族だけの問題であるように考えられがちである。しかし劇中で描かれるように、愛する者の死の影響は遺族に限られるものではない。その影響は、母親や妹、親しい友人、セルフヘルプ・グループで出会った人たちなど、遺族を取り巻く人たちのあいだにも波紋のように広がり、それまでの関係を激しく揺さぶる。そのなかで、解消しきれない悲しみや怒り、わだかまりを抱え、明確な「答え」や「希望」が見出せずにいながらも、関係を紡ぎなおそうと歩みだす主人公夫婦。彼らの姿は、グリーフ・ワークが死別した者との関係を紡ぎなおす過程であると同時に、残された者たちが関係を紡ぎなおす過程でもあるということに気づかせてくれる。(岩佐光広)



© 2010 OP EVE 2, LLC. All rights reserved.

「包摂と自律の人間学

—世界の映画から知る、家族のゆくえ—

国立民族学博物館・教授 小長谷有紀

教科書やさまざまなパンフレットにえがかれている家族といえは、たいてい両親と男女2人の子どもたち。けれど、実際に統計をみるかぎり、そんな家族はもう平均的なたたであるとはいえません。シングルの選択、国際的な結婚や養子縁組、日本ではまだ法的に認められていない同性婚、老後のシングルライフ、海外移住など。家族のすがたは変わりつつあります。血縁だけが家族の条件ではなくなる一方で、医療技術の進歩にともなって遺伝子的な近さが新たな意味をもつ時代です。映画にえがかれた家族のすがたから、現代世界を知りながら、今後のゆくえをさぐってみましょう。わたしたちは、いつでも誰かを助けることができると同時に、つねに多くの人がひとに助けられている生き物です。だから、自分とは意見のちがう他者を包み込みながら自分らしさをたもっていくことは、豊かに生きるための、1人ひとりの課題です。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車、徒歩約15分

*映画会のみ参加される方は、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要となります。

「公園東口駅」下車、徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

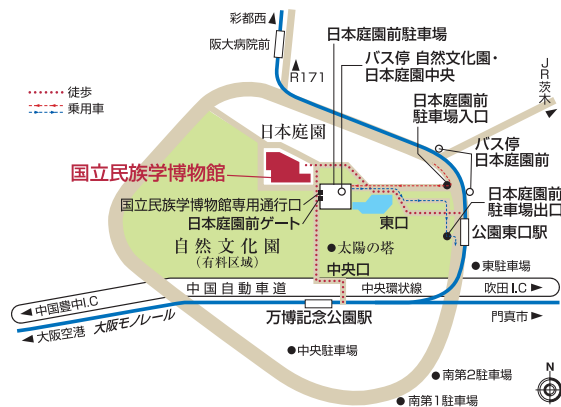
●乗用車

駐車施設が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通ください。



お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

TEL.06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00)

FAX.06-6875-0401

http://www.minpaku.ac.jp/

公式Facebook http://www.facebook.com/MINPAKU.official

次回作品

人生はビギナーズ Beginners

2014年3月16日(日)

2010年/アメリカ映画/

英語・フランス語/105分/

日本語字幕付き

監督/マイク・ミルズ

主演/ユアン・マクレガー

クリストファー・プラマー



© 2010 Beginners Movie, LLC. All Rights Reserved.